

以下の文章を読み、すでに配信済みの口語訳を参照して、後の問いに答えなさい。

尼君、髪をかき撫でつつ、「梳ることをうるさがり給へど、をかしの御髪や。①いとはかなうものし給ふこそ、あはれに後ろめたけれ。②かばかりになれば、いとからぬ人もあるものを。故姫君は、十ばかりにて殿におくれ給ひしほど、いみじうものは思ひ知り給へりしぞかし。ただ今③おのれ見捨て奉らば、④いかで世におはせむとすらむ。」とて、いみじく泣くを見給ふも、⑤すずろに悲し。幼心地にも、さすがにうちまもりて、伏し目になりてうつぶしたるに、こぼれかかりたる髪、つやつやとめでたう見ゆ。

I 生ひたたむありかも知らぬ若草をおくらす露ぞ消えむそらなき  
またあたる大人、「げに。」とうち泣きて、

II 初草の生ひゆく末も知らぬまに⑥いかでか露の消えむとすらむ  
と聞こゆるほどに、僧都あなたより来て、「こなたはあらはにや侍らむ。今日しも端におはしましけるかな。この上の聖の方に、源氏の中将の、瘡病まじなひにもし給ひけるを、ただ今なむ聞きつけ侍る。いみじう忍び給ひければ、知り侍らで、ここに侍りながら、御とぶらひにもまうでざりける。」とのたまへば、「あないみじや。いとあやしきさまを人や見つらむ。」とて、簾下ろしつ。「⑦この世にののしり給ふ光源氏、かかるついでに見奉り給はむや。世を捨てたる法師の心地にも、いみじう世の憂へ忘れ、齡延ぶる人の御ありさまなり。いで御消息聞こえむ。」とて立つ音すれば、⑧帰り給ひぬ。

あはれなる人を見つるかな、かかれば、このすき者どもは、かかる歩きをのみして、よくさるまじき人をも見つくるなりけり、たまさかに立ち出づるだに、かく思ひのほかなることを見るよ、とをかしう思す。さても、いとうつくしかりつる児かな、何人ならむ、かの人の御代はりに、明け暮れの慰めにも見ばや、と思ふ心深う付きぬ。

問一 傍線部①について、主語を補って口語訳しなさい。

問二 傍線部②について

- 1 「かばかりになれば」の「かばかり」とはどういうことか。
- 2 「かからぬ人」とはどういう人か。本文に即して具体的に答えなさい。

問三 ③「おのれ見捨て奉らば」の傍線部について、A敬語の種類と、B誰の誰に対する敬意を表しているかを答えなさい。

問四 傍線部④を口語訳しなさい。

問五 傍線部⑤「すずろに悲し。」と書いているのは誰か。

問六 Iの歌について、

- 1 「初草」「露」はそれぞれ誰のたとえか
- 2 「消えむそらなき」とは、誰がどのようなことか。

問七 IIの歌について、

- 1 傍線部を口語訳しなさい。
- 2 ⑥「いかでか露の消えむとすらむ」に込められた思いを分かりやすく説明しなさい。

問八 傍線部⑦について、

- 1 「見奉り給はむや」の助動詞「む」の、文法的意味を答えなさい。
- 2 「見a奉りb給はむや。」の敬語表現 a・bについて、種類・品詞・誰から誰への敬意かを説明しなさい。
- 3 全体を口語訳しなさい。

問九 傍線部⑧「帰り給ひぬ。」の主語は誰か。

